

【参考資料】

「委員会」「ワーキング」「ワークショップ」実施一覧

中国学園大学オフィス

■「社会人基礎力養成委員会」(平成22年)

月	日	曜	内容	対象	場所・会場	参加者
6	22	火	委員会	連携校の教職員	中国学園大学	11大学 18名

※「委員会」方式から「ワーキング」方式に変更

(理由) 各大学での「キャリア教育」に対する考え方・準備・内容が様々であり、「教育として実施の大学」「学生支援として実施の大学」「未実施」の大学など、状況や方向性に共通要素がない中で委員会を重ねることよりも、担当者・経験者・受講学から成るワーキングで検討を重ねる方が事業目的達成につながるとの意見が、第1回委員会の開催前から挙がっていた。第1回の委員会の参加者も、立場・担当や経験に共通要素がないことから、参加者の意向を確認した上で、「ワーキング」への変更を行うこととした。

(変更内容) 「キャリア教育担当講師」「企業の人事担当」「キャリア教育受講経験者(社会人)」「受講経験者(学生)」が参画するワーキング活動に切り替え、個別対応のヒヤリング・意見交換会を実施する。2011年度には、連携校の教職員を集め、また学生の代表者も参加しての「ワークショップ」を開催し、ワーキングの結果報告と学生プレゼンをテーマにした意見交換会を実施する。

■「社会人基礎力養成ワーキング」

【平成22年度】

(計 25回)

月	日	曜	内容	対象	場所・会場	参加者
4	22	木	ヒヤリング	修了生(学生)	奉還町 ONSAYA	修了生 10名
5	20	木	意見交換会	修了生(学生)	奉還町 ONSAYA	修了生 8名
6	10	木	ヒヤリング	講座の現受講生	デジタルミュージアム	学生 9名
6	17	木	ヒヤリング	修了生(学生)	奉還町 ONSAYA	修了生 9名
7	8	木	意見交換会	講座の現受講生	デジタルミュージアム	学生 9名
7	10	土	ヒヤリング	大学キャリア教育講師	高松	大学教職員 3名
7	27	火	ヒヤリング	高校教諭	林野高校	高校教諭 3名
7	15	木	ヒヤリング	昨年度の修了生(学生)	奉還町 ONSAYA	昨年度の修了生 8名
9	4	土	シンポジウム企画	修了生(社会人)	中国学園大学オフィス	社会人修了生 4名
9	11	土	意見交換会	企業の人事担当	岡山駅前	人事担当者 2名
9	16	木	意見交換会	昨年度の修了生(学生)	奉還町 ONSAYA	昨年度の修了生 5名
10	17	日	ヒヤリング	企業の人事担当	岡山駅前	人事担当者 1名
10	21	木	ヒヤリング・意見交換会	修了生(学生)	奉還町 ONSAYA	修了生 5名
11	5	金	ヒヤリング	キャリア教育講師	岡山駅前	民間講師 2名

11	9	火	ヒヤリング	専門学校キャリア講師	岡山駅前	専門学校講師 1名
11	18	木	ヒヤリング	講座の現受講生	デジタルミュージアム	学生 13名
11	18	木	ヒヤリング・意見交換会	昨年度の修了生(学生)	奉還町 ONSAYA	昨年度の修了生 8名
12	5	日	シンポジウム企画	修了生(社会人)	表町	社会人修了生 5名
12	5	日	ヒヤリング・意見交換会	企業の人事担当	岡山駅前	人事担当者 2名
12	10	金	ヒヤリング	高校教諭	邑久高校	高校教諭 4名
12	16	木	ヒヤリング	昨年度の修了生(学生)	奉還町 ONSAYA	昨年度の修了生 5名
1	15	土	ヒヤリング	修了生(社会人)	中国学園オフィス	修了生 3名
1	20	木	ヒヤリング・意見交換会	講座の現受講生	デジタルミュージアム	学生 14名
1	20	木	意見交換会	修了生(学生)	奉還町 ONSAYA	修了生 6名
1	23	日	シンポジウム振り返り	修了生(社会人)	表町	社会人修了生 5名

【平成23年度】

(計 19回)

月	日	曜	内容	対象	場所・会場	参加者
5	17	火	ヒヤリング振り返り	修了生(学生)	岡山大学	修了生 5名
5	31	火	ヒヤリング振り返り	修了生(社会人)	中国学園オフィス	社会人修了生 5名
6	2	木	意見交換会	修了生(学生)	中国学園オフィス	修了生 2名
6	7	火	意見交換会	岡山県職員	岡山県県民生活部	県職員 3名
6	9	木	ワークショップ企画	修了生(学生)	岡山理科大学	修了生 3名
6	10	金	意見交換会	企業の人事担当	岡山駅前	人事担当者 2名
6	23	木	ワークショップ企画	昨年度の修了生(学生)	岡山大学	修了生 5名
6	24	金	意見交換会	高校教諭	邑久高校	高校教諭 4名
7	14	木	意見交換会	修了生(社会人)	中国学園オフィス	社会人修了生 3名
9	8	木	ワークショップ企画	昨年度の修了生(学生)	岡山大学	修了生 4名
10	20	木	意見交換会	企業の人事担当	高梁市 I社 事業部	人事担当者 3名
10	27	木	意見交換会	講座の現受講生	デジタルミュージアム	学生 14名
11	8	火	意見交換会	企業の人事担当ほか	中国学園オフィス	社会人 5名
11	10	木	意見交換会	講座の現受講生	デジタルミュージアム	学生 9名
11	11	金	意見交換会	修了生(社会人)	中国学園オフィス	社会人修了生 4名
11	25	金	意見交換会	修了生(社会人)	中国学園オフィス	社会人修了生 3名
11	30	水	意見交換会	昨年度の修了生(学生)	中国学園オフィス	昨年度の修了生 5名
12	5	月	ヒヤリング・意見交換会	高校教諭	岡山南高校	高校教諭 4名
12	23	金	意見交換会	大学教員	駅元町	大学教員 2名

■「社会人基礎力養成委員会」(平成23年)

月	日	曜	内容	対象	場所・会場	参加者
9	30	金	ワークショップ	連携校教職員+学生	中国学園大学	9大学 16名 +学生4名

■身について「基礎力」

ワーキングMEMO
(修了生、受講生2)

気付き

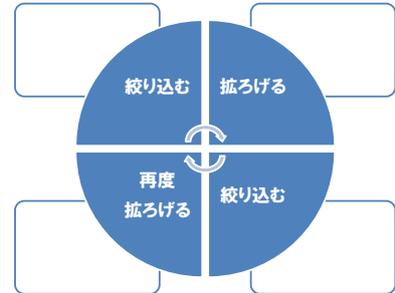
行動

習慣化

【仮説】キャリア形成とは、「目標設定」ではなく、「習慣化」である

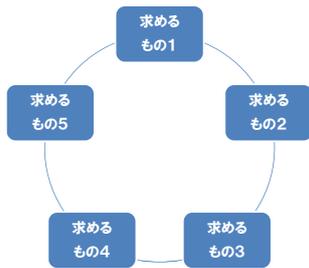
■グループ企画会議の振り返り

ワーキングMEMO
(受講生1)



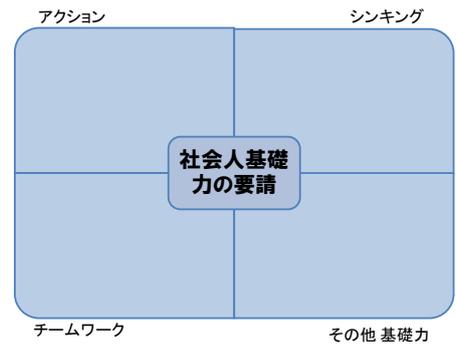
■学生視点での「キャリア形成講座」とは

ワーキングMEMO
(修了生、受講生)



■現場から学ぶ具体的事例

ワーキングMEMO
(修了生、企業)



■ワークショップでの検討テーマは？

ワーキングMEMO
(修了生)

Three horizontal bars for writing discussion themes.

■ワークショップ企画案の作成

ワーキングMEMO
(修了生)

【検討テーマ・論点】

グループA	グループB	グループC

ワーキング2010

意見交換会 I

岡山オルガノン
中国学園大学オフィス

ワーキングの狙い・目的

教職員・学生の合同による
「ワークショップ」開催に向けて
自由な意見交換を行う！

ワーキングのテーマ

学生が望む
「キャリア講座」とは

では、
意見交換会を始めましょう

自己
紹介

講座を受講しての
感想

(役立った点)
(課題・問題点)

講座に対する
要望

提案・企画案

学生が
望む講座とは？

次回
に向けて

ワーキング2010

意見交換会 II

岡山オルガノン
中国学園大学オフィス

12月25日 シンポジウムに向けて



岡山オルガノン 中国学園大学オフィス

【第1部】

基調講演

【第1部】

「先手必勝！
同期から一步先んじる新入社員になる方法
～現場で活かせ！社会人基礎力～」



＜講師＞ 松下 直子氏
(株式会社 オフィスあん 代表)

【第2部】

後輩たちに贈る
現場からの熱い言葉！

【第2部】

後輩たちに贈る
現場からの熱い言葉！



パネリスト紹介

大学コンソーシアム岡山
「キャリア形成講座」修了生

→ 岡山で活躍中の若手社会人
(4名)

パネリス

ト

4



杉本

健太



仁井名小

百

合



吉

柳

芽

依



渡邊雅斗



進行

飯田哲司

発表内容

第壱話

自己
紹介

学生と社会人と
のちがい

印象に残ったエピソード

第弐話

第参話

社会で必要な力とは

第四話

起業を志した
きっかけは

仕事の
モチベーションは

この一年間を
漢字一文字で
たとえると

第五話

杉本

「 」

仁井名

「 」

吉柳

「 」

渡邊

「 」

学生へのエール

第六話

贈る、言葉

ひとつの頭で**考え**ない

ひとつの頭で**考え**ない

保留しないで**行動**しよう！

「わかる」を
「できる」に！

ひとつの頭で**考え**ない

保留しないで**行動**しよう！

《社会人基礎力》

①「前に踏み出す力」



②「考え抜く力」



③「チームで働く力」



以上が
「シンポジウム」の概要です。

では、
意見交換会を始めましょう！

■コンソーシアム「キャリア形成講座」の狙い・目的

＜従来の「キャリア講座」＞

- ・「働く」とは（就労意欲の醸成）
（働く意義・目的）
- ・企業トップの講演・訓話
- ・単発スタイル（オムニバス）
- ・かたち重視のマナー

- ・面接必勝法
- ・資格取得のすすめ



＜コンソーシアムで実践している「キャリア形成講座」＞

- ・「入社から定年まで活かせる能力」とは
- ・実力養成トレーニング
- ・実践的な課題解決
- ・積み上げ型プログラム（15回シリーズ）
- ・実践的マナー&現場重視のビジネスマインド

- ・講師が実社会経験者 + 個々に専門知識を習得中

- ※就活対策とは区分したキャリア形成教育
（就活にも役立つ心構え）（グループ模擬面接）は実施

+

- ・講座OB（社会人も含む）との交流企画
- ・地域活性化イベントへの出展

■受講しての感想（役立った点、効果をあげた点）
（問題点、物足りなかった点）

■要望・講座に望むこと

■学生からの提案企画



大学教育連携センター
中国学園大学オフィス

「実践的キャリア教育委員会」報告
(社会人基礎力養成連携委員会)

中国学園大学オフィス
飯田 哲司

大学
コンソーシアム
岡山

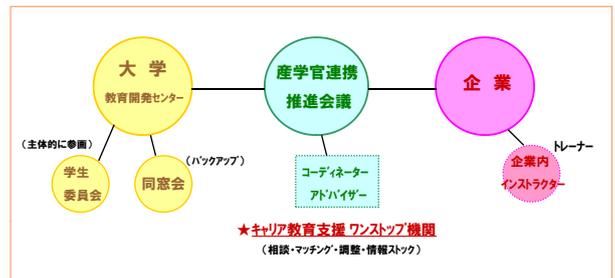


2005年 5月 : 提案・構想・企画化
設立ワーキング・グループ活動開始
2005年12月 : 学長懇談会で承認
2006年 4月 : 「大学コンソーシアム岡山」設立

◇目指すべきイメージ

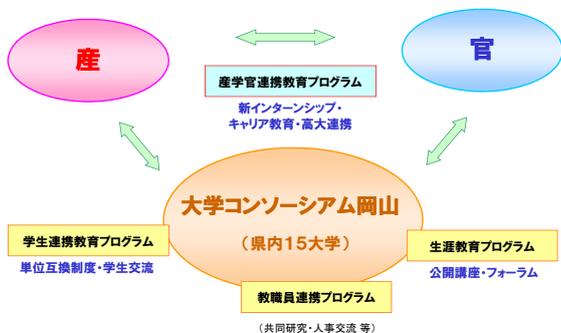
2005. 5 検討当初

- 産学官連携推進会議 キャリア教育推進事業に、「ワンストップの専門機関」を設置する
- 「インターンシップ」という従来の呼称を、「キャリア教育支援」に置き換え、岡山大学「キャリア教育プログラム」に準拠した「あらたな支援プログラム」とする

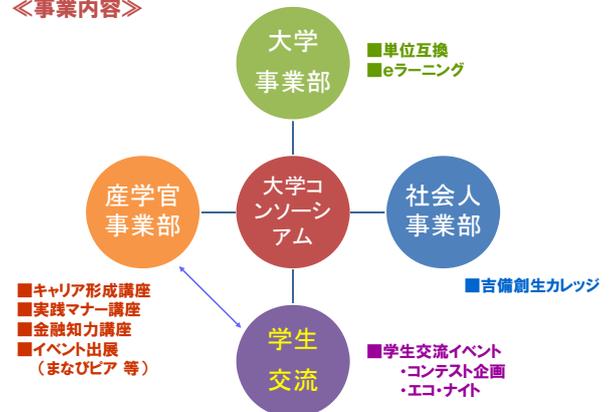


※企業は、就労機会の提供以外にも、「就職観やキャリア意識の醸成」を支援
企業にとってのメリットは、「社員への刺戟付け」「企業イメージ向上」(従来型よりも受入れ負担を軽減)

大学コンソーシアム岡山(仮称)の概念図



《事業内容》



●産学官連携事業部

『キャリア形成講座』



『実践マナー
& ビジネスマインド講座』

「体験型(参加型)講義」

「実践的トレーニングワーク」

入社後から定年まで
活かせる
キャリア教育



『キャリア形成講座』

実践的なトレーニングにより、
社会人として必要な基礎力・
応用力を身につけよう！



岡山の大学へ行こう！ vol.2

岡山県内の大学へ進むと、概ね大学の特色ある科目も無料で受講できることをご存じですか？ 2006年4月に発足した産学官連携組織「大学コンソーシアム岡山」は、県内すべての4年制16大学と岡山経済同友会、岡山県が委員長、4都大・1高専が特別委員として設置し、単位互換制度などで学生の学びを幅広くサポートしています。教育・研究力と地域との一層の向上を目指す「大学コンソーシアム岡山」の取り組みをご紹介します。

産学官連携組織「大学コンソーシアム岡山」



16大学が約250科目を提供
単位互換制度
実践的なキャリア形成講座・全履修型講座
実社会で役立つ内容
キャリア形成講座・全履修型講座
実践的なキャリア形成講座・全履修型講座
実践的なキャリア形成講座・全履修型講座

“オール岡山”で学

7月19日 山陽新聞 朝刊

岡山の大学へ行こう！ vol.2



◆15回の正規講義
⇒ 2単位付与

◆2006年の前期より開講
⇒ 12クラス実施
約300名が受講
(※レクチャーも多数あり)

■開講日：後期は、<10月7日 開講>
毎週 木曜日 16:30~18:00
■場所：岡山市デジタルミュージアム 講義室



受講生数の推移 (2006~2009年度)

	科目	2006年度				2007年度				2008年度				2009年度				合計
		履修	合格	履修	合格	履修	合格	履修	合格	履修	合格	履修	合格	履修	合格			
南山大	講	6	14	15	5	11	11	24	6	3	5	5	4	105				
	(D)	1	2	4	2	2	4	12	3	2	3	4	36					
南山経済大	講		9	2			1					1	13					
	(D)		1	2			1					1	11					
南山学院大	講		4	2	1		8	6	1		1	1	23					
	(D)		1	4	2	1	1	4	1		1	1	22					
川崎産業福祉大	講	1					4	1					6					
	(D)	1					4	1					6					
ツルギ福祉大	講					1							1					
	(D)					1							1					
山崎学園大	講	1	1		1		1				1		5					
	(D)	1	1		1		1				1		5					
経東大	講	5	1	1	5					1			13					
	(D)	5	1	1	5					1			13					
ナガサキ大	講	9	5	16		11	2	5	9	16	8	7	88					
	(D)	9	5	16		11	2	5	9	16	8	7	88					
青森学院大	講								1				1					
	(D)								1				1					
合計	講	22	34	36	12	23	27	36	17	20	15	13	255					
	(D)	22	34	36	12	23	27	36	17	20	15	13	255					

講座内容の紹介

前半は、「コミュニケーション力」「自己分析」「他者理解」「キャリア形成論」を、実践的に学び、



後半の「課題解決グループ企画会議」では、最終回の「プレゼン大会 優勝」に向けて、チーム一丸となつての真剣勝負を展開！！

徹底した「体験学習」と「実践型トレーニング」



企業出身で、採用・社内研修の経験を有する講師が担当
(現在も、「企業内研修」や「プロ養成セミナー」を担当)
⇒ 時代に合った実践型トレーニングメニューを作成

【講座のテーマ・合言葉】

- 「わかる」と「できる」はちがう
- 「保留」しないで「行動」しよう！
- 考えることを人に任せるな！
- ひとつの頭で考えない
- 自己実現と他者実現

1. 社会が求める人材とは



《社会が求める人材(力)とは》

- ① 自主自立 …… 自分で考え決める力
自立して生きてゆく力
- ② 行動力 …… 自ら現場に行き参画する力
- ③ 問題解決力 …… 問題意識 ⇒ 発見 ⇒ 解決
- ④ コミュニケーション力 …… 自分の意見を伝え、説得する力
他人と理解しあう力
- ⑤ リーダーシップ …… 目標達成のため、人を動かし
成果に導く力

《仕事に必要な基礎力》

大久保幸夫「仕事のための12の基礎力」(日経BP社)



出典：「就職白書2005」

企業 833社	重視する項目	学生 1616人	アピール項目
89.6%	人柄	53.3%	
78.8	その会社への熱意	42.1	
74.2	今後の可能性	20.6	
35.2	能力適性検査	2.7	
34.9	性格検査	2.5	
21.5	アルバイト経験	57.9	
18.5	大学での成績	14.8	
13.8	クラブ・サークル	37.0	
13.3	語学力	9.8	
11.8	取得資格	16.3	
10.6	大学名	5.4	
7.1	趣味・特技	30.3	
4.6	ボランティア経験	12.3	

2. コミュニケーション力



宇宙人発見！岡山駅西口で確保！！



◇「伝わる」とは、

：何を言うかではなく、誰が言うか

自分の思いを確実に相手に伝えたいなら、
「メッセージ力・メディア力」をつけること・・・



“あなた自身が信頼される力”

《コミュニケーションのポイント》



- | | |
|-------------|------------|
| ● 目を見る | ● 論理的に |
| ● うなづく | (PREP法) |
| ● 反射する | ● 気持ちを配慮 |
| (繰り返す・要約する) | (YES-BUT法) |

3. 自分の適性と進路選択



働くことと自分を考えるポイント

《マッチング理論の間違い(RIASEC)》

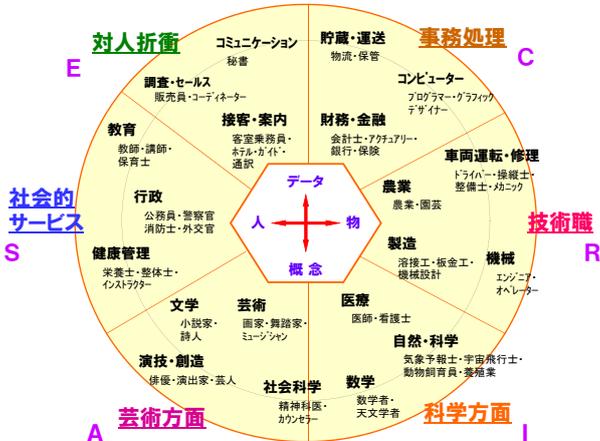
・自分はいつまでも、いまの自分ではない。
日々成長していくし、興味・関心も変化していく。

《RIASEC (6つの性格)》 人の性格と、職業の特性の持つ「6つの特徴」とは・・・



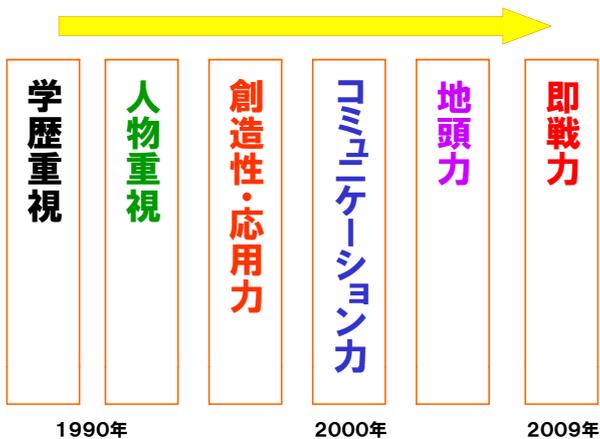
《職務世界の地図》

出典：1985 The American College Testing Program.

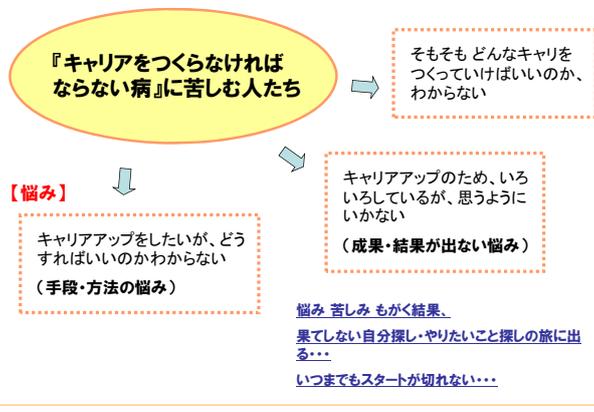


4. キャリア形成新理論





《強迫観念が生む悪循環...》



行動・実行



成功 ➡ 自信になる
失敗 ➡ 勉強になる

**6. 自己分析
セルフコントロール**



対人スタイルを知る／診断



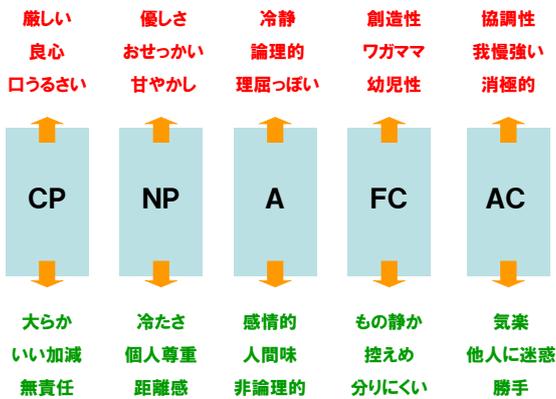
Star of Wonder

星をなぞってみよう!



【準備】

鏡とシートを配ります
演習の説明を聞いてください!
スタートの合図で始めますので、スタンバイして待ってください。

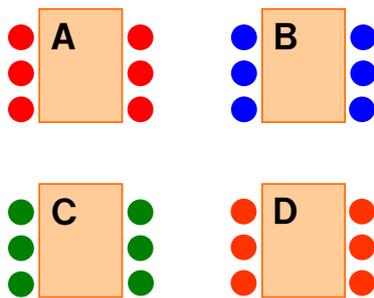


7. 実践的グループワーク

(企画会議)
(課題解決)



グループ分け



[テーマ] 「撤退に追い込まれたレストランを再生する」

(1) 数々のトラブルと近隣の反発により閉店に追い込まれたレストランを、あらたなアイデアで復活させよう！
(二度と同じ失敗はできない・・・)

(2) 他の店にはない「画期的なコンセプト」「独自の企画・PR広告案」を考え、生き残る店をプランしよう！

[要件の追加]

《出資者からの要望・プレッシャー》

「これだけの好立地なのだから、成功するはず・・・。
必ず儲かる店にせよ」

《近隣住民からの強い要望》

「この街のイメージアップも重視してほしい。
街に溶けこみ、“文化”を意識した店づくりを・・・。
以前のようなことは もうこりこりだ・・・」

① 拡げる・ふくらます



② 絞り込む・まとめる



③ 全否定する・見直す

【集大成】

7. プレゼンテーション大会



前半に学んだ
「コミュニケーション力」「自己分析」
「他者理解」「キャリア形成論」を活かしてのチーム戦



最終回の<プレゼン大会 優勝>に向けて、
チーム一丸となつての真剣勝負を展開！！

「グループ企画会議」



「プレゼンテーション大会」



クオリティの高い「プレゼンテーション」は、
企業の若手社員も圧倒！



プロもうなるほどの資料
ビデオレターも巧みに導入

「和」をモチーフにした
企画は、浴衣姿でプレゼン



ハワイアンレストランの
企画発表は、エキゾチックに
(美味しい試食付きで)



ミニドラマやBGM、
立体模型なども・・・



凝った演出で
斬新な企画をアピール



うらじゃの学生と
生産農家のコラボ企画も



わずか数回で、
ここまで真剣に取り組む・・・

OBも「プレゼン大会」に
駆けつけ、審査に参加



大会の振り返りも
きっちり



【修了後の絆】



打ち上げ・感謝会
同期会の発足



社会人との交流



地域活動に参画
（「まなびピア」出展）



「ロゴマーク・コンテスト」
などの運営も



大学
コンソーシアム
岡山



◆15回の正規講義
⇒ 2単位付与

◆2006年の前期より開講
⇒ 12クラス実施
約300名が受講
(ネリビーターも多数あり)

■開講日：後期は、<10月7日 開講>
毎週 木曜日 16:30~18:00
■場所：岡山市デジタルミュージアム 講義室

◆『キャリア形成講座』



「大学コンソーシアム岡山」で、
次年度以降も継続実施！！

◆『実践マナー&ビジネスマインド講座』



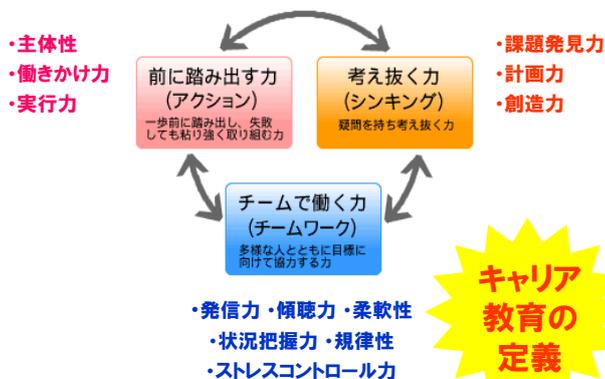
あらたな講師陣・プログラム・
開講形態を準備し、
「岡山オルガノン」で実施！！

「社会人基礎力」

*経済産業省が定義

- 1) 前に踏み出す力 (アクション)
- 2) 考え抜く力 (シンキング)
- 3) チームで働く力 (チームワーク)

【社会人基礎力】 経済産業省が定義



高大連携 実例

高大連携講義 実例1

【 邑久高校 】

キャリア形成のなかでも、「コミュニケーション力の強化」に焦点を絞った展開を、1年生～2年生の2か年に渡って実施

*昨年の5月1日、
“関谷学校1泊合宿”
150分キャリア講義



↓
続編講座を実施：6月(1年生全員) + 1月(1年生・2年生合同)

高大連携講義 実例1

高大連携講義 実例2

【 邑久高校 】

『コミュニケーション講座』(2010年度)

■1年生：「自己理解」調べる力

160人 <90分>

1回	4月	160人 (飯田)
2回	6月	160人 (P松田)
3回	11月	160人 (P待留)
4回	1月	160人 (P松田)

■2年生：「伝える力」プレゼン力

80人+80人 <90分>

1回	4月	—
2回	5月	80+80人 (P松田・P待留)
3回	11月	80+80人 (P桑田・飯田)
4回	1月	80+80人 (P桑田・飯田)

【 和気関谷高校 】 キャリア探求科

< 3週間連続「キャリア形成」授業 >

- 1週目：キャリア形成講義「社会で求められる力とは」(飯田)
- +
- ◆2週目：1年生120名が3班に分かれ、希望の講義を受講
- ◆3週目：同じく3班に分かれ、希望の講義を受講

↓
逆インターンシップ

高大連携講義 実例2

高大連携講義 実例3

<「逆インターンシップ(仮称)」実施案>

7/ 4 (火)
14:05～15:45

ガイダンス・導入講義
(岡山経済同友会 飯田)

*①生徒の講義選択のための説明ガイダンス
②導入講義『社会で求められる力とは』

7/ 7 (金)
10:45～12:25

製作・もの作り
(倉川大子 山崎助教) 出版・編集の現場の話

報道・メディア
(朝日新聞社 村田記者)取材現場のナマの話

女性の仕事感
(社労士事務所 桑田代表) (キャリアセンター 林副代表)

7/11 (火)
14:05～15:45

進路相談の現状
(キャリアセンター 内田さん) 種別・アドバイスの実践も

商品開発
(中小企業診断士 予定) 現場経験者の体験話

社会を知ろう
(岡山経済同友会 飯田) 社会を知り成功・実現へ

【 林野高校 】 『“学問の鉄人”講座』

※15のコースより希望講義を選択

1	文学	尾道大学
2	経営学	中国短期大学
3	教育学	美作大学
4	福祉	岡山大学
5	看護・医療	岡山県立大学
6	食物・栄養	美作大学
7	理学	高知大学
8	工学	島根大学

9	環境	岡山大学
10	IT	岡山情報ビジネス学院
11	調理・製菓	日本栄養専門学校
12	理容・美容	岡山ビューティーモード
13	音楽	放送芸術学院
14	公務員	専門学校ビーマックス
15	就職	株式会社さんぼう

(1・2年生 316名) <90分>

高大連携講義 事例3

【林野高校】

MDP
「学問の鉄人講座」

1・2年生 316人が、15の講座より自由選択受講

第2回進路セミナー
(MDP SPECIAL 明日をつかめ！学問の鉄人講座)

平成21年10月9日(金)12:55～14:45

番号	分野	所属 (取組名)	講師の経歴
1	文学	尾道大学 芸術文化学部 日本文学科 教授 寺島 雅人	『文学研究入門』 身近な具体例を挙げて、日本文学研究の対象 方法、そして面白さについて、分かりやすくお 話します
2	経営	中国短期大学 情報ビジネス学科 教授 藤田 哲司	『実践的経営学入門』



高大連携講義 事例3-②

【玉野高校】『合同出張講義』

※ 2日間実施 (2007年12月)

(1日目)

1	子ども	中国学園大学
2	介護ケア	中国短期大学
3	コンピューター	倉敷芸科大学
4	心理学	川崎医療福祉大学
5	看護医療	岡山県立大学
6	食物	就実大学
7	体育実技	環太平洋大学
8	経済学	(関西方面の大学)

(2日目)

1	キャリア形成	中国短期大学
2	環境	倉敷芸科大学
3	学芸員	就実大学
4	医療	川崎医療福祉大学
5	体育実技	環太平洋大学
6	法律入門	(関西方面の大学)
7	言語学	(関西方面の大学)

(2年生 230名) <90分>

高大連携 事例

B. <<受入れ講義>>

高大連携講義 事例

【後楽館高校】



1) 受入講義 (2008年・2009年10月の第1週)

連続5日間、大学生・短大生に交じって、正規の講義を体験受講

*2～3講義 × 5日間 = 12講義

高大連携講義 事例

【後楽館高校】

2) ゼミ体験 (10月)

情報ビジネス学科のゼミを体験 (希望の生徒に実施)



先輩との交流も



高大連携 事例

C. <<教員研修会>>

高大連携講義 実例

【 教員研修会 】

*「生の講義」+「意見交換会」

- 林野高校 : 2009年度 8月・2月 (120分)
- 久世高校 : 2009年度 12月 (120分)
- 和気閑谷高校 : 2006・2007年度は年間6回
- 岡山東商業高校

高大連携講義 実例

【 キャリア教育推進事業 】

*講演・報告会を実施

<拠点校>

- 久世高校
- 和気閑谷高校
- 岡山東商業高校

+ 近隣の高校(協力校)
地域の小学校・中学校
地域の企業・団体
市の担当者
教育庁 もご参加

A. 出張講義

- ・通常授業 ・合宿
- ・逆インターンシップ
- ・選択方式 合同講義

B. 受入れ講義

- ・一日 体験受講
- ・一週間 体験受講
- ・スポット体験

C. 教員研修会

- ・キャリア講義実演
- ・キャリア教育勉強会
- ・(パートナー講師紹介)



体験型キャリア教育



実践型キャリア教育



高大連携教育



第1回 「実践的キャリア教育委員会」出席者名簿

大学名	氏名	職名
岡山大学	三浦 孝仁	キャリア支援センター・教授
岡山県立大学		
岡山学院大学		
岡山商科大学	岡部 泰正	キャリアセンター課係長
岡山理科大学	榎本 豊	事務局次長・就職部長
	木村 宏	大学教育連携センター センター長
	佐藤 大介	大学教育連携センター コーディネーター
川崎医科大学	大槻 剛巳	学長補佐・教授
川崎医療福祉大学	田中 俊行	教務課長
環太平洋大学	中野 浩志	事務局教務課 事務職員
吉備国際大学		
倉敷芸術科学大学	片岡 良平	大学事務局次長兼教務部長
	加藤 敬史	生命科学部准教授 就職部次長
くらしき作陽大学	加藤 充美	学生部長・音楽部教授
山陽学園大学	吉井 万里子	教務課長
就実大学	西川 千鶴子	キャリアセンター係長
ノートルダム清心女子大学	木梨 憲一	学務部事務長
	太田 裕子	学務部事務職員
中国学園大学		
	飯田 哲司	中国学園大学オフィス リーダー
	桑田 朋美	中国学園大学オフィス コーディネーター
	矢部 慎吾	中国学園大学オフィス 事務補佐員

平成22年 6月 9日

岡山オルガノン連携校 各位

岡山オルガノン 中国学園大学オフィス

代表 飯田 哲司

コーディネーター 桑田 朋美

第1回「実践的キャリア教育委員会」開催について

拝啓

向暑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「社会人基礎力養成」につきましては、昨秋より取り組みを開始いたしましたが、カリキュラム案・講師等の準備が整い、ここで委員会を設置する運びとなりました。

つきましては、下記日程にて第1回委員会を開催いたしますので、出席者の連絡をお願い致します。

(なお、委員選出につきましては、第1回委員会終了後に改めて依頼させていただきます)

敬具

記

1. 日 時 : 平成22年 6月22日 (火) 15:30~17:00
2. 場 所 : 中国学園 本館3階 第1会議室 <別紙地図参照>
3. 出席いただきたい方 : キャリア形成教育の導入に関する担当者(教務課 等)
もしくは、キャリア形成教育の実施担当者
4. 議 題 : ① 社会人基礎力養成事業の内容および進め方について
② 準備・経過の報告
③ その他

※<出席者の連絡>

別紙に記入のうえ、6月18日(金)までに、メールまたはFAXで連絡ください。

以上

ワークショップ2011



大学教育連携センター
中国学園大学オフィス

社会人基礎力養成ワークショップ

2011/9/30

～ 学生や社会の現場が望む
キャリア形成教育とは ～

岡山オルガノン 中国学園大学オフィス

ワーキングの実施報告

2010年・2011年

■ ワーキングのテーマ：

「学生が望む“キャリア形成教育”とは」

■ 「ヒヤリング」意見交換会」を実施：

- ・現役学生（「キャリア形成講座」受講生）
- ・ “ ” （ “ ” 修了生）
- ・若手社会人（ “ ” 修了生）
- ・キャリア教育関係者
- ・企業の人事教育担当者

【取組内容】

「社会人基礎力養成」に関する
ワークショップの開催のための活動

- ◆ 「学生へのヒヤリング・意見交換会」
- ◆ 「社会人へのヒヤリング・意見交換会」

学生へのヒヤリング 意見交換会

（月1回ペースで実施）



「キャリア形成講座」の修了生へのヒヤリング

社会人との意見交換会

(+高校の先生方)

(年間18回実施)



このヒヤリング・意見交換会での「内容」「要望」「提案」を元に、連携校のキャリア教育実施担当者とのワークショップを開催する

*このワークショップには学生代表者も参加の予定

ワークショップ開催の前に
(初めての方への説明)

『キャリア教育』とは

2005年、2006年の時点では・・・

◇「キャリア形成教育」

- ①：「企業トップの訓話」「社会人の日常的体験談」
- ②：「資格取得の指導」「実務スキルアップの訓練法」
- ③：「就職テクニック」(エントリーシート記入法・面接必勝法)



シフト・チェンジ

- ④： **実社会で必要とされる「力」を知り、身につける**
自分を知り、社会を知り、「自己形成・自己実現」へ
繋げる行動を起こす！

当時の反応・意見

■受講した学生からの意見 (一例)

- ① 「キャリア教育」と「就活対策」は別もの！
区分して実施してほしい
- ② 実践的なトレーニングを行う『体験学習』を
やってほしい (もっとやりたい)
- ③ 企業での勤務経験(入社面接～新人時代
～中間～管理職)のある講師から学びたい
- ④ 社会人の先輩と交流できる場がほしい

■企業の人事教育担当者の意見 (一例)

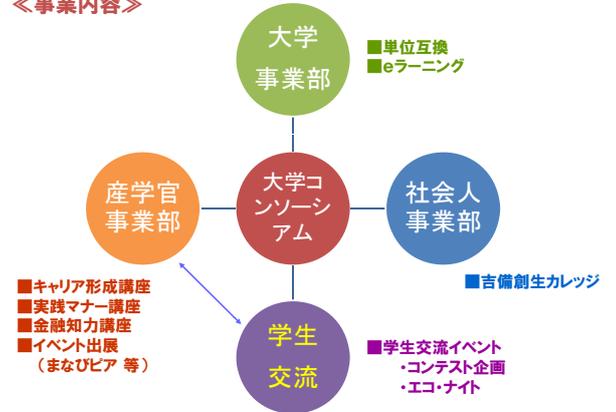
- ① 「アウトプットする能力」の強化を！
(発信力)(成果物を作り上げる)
- ② 「地頭力」の強化を！
- ③ 「自立心」を強化を！

大学コンソーシアム岡山

『キャリア形成講座』の取り組み

(2005年に産学連携で開始)

《事業内容》



●産学官連携事業部

『キャリア形成講座』



『実践マナー & ビジネスマインド講座』

岡山の大学へ行こう! vol.2

産学官連携組織「大学コンソーシアム岡山」



岡山県内の大学へ進むと、他大学の特色ある科目も無料で受講できることをご存じですか？ 2008年4月に発足した産学官連携組織「大学コンソーシアム岡山」は、県内すべての4年制16大学と岡山経済同友会、岡山県が正会員、4短大・1高専が特別会員として加盟し、単位互換制度などで学生の学びを豊かにサポートしています。教育・研究力と地域貢献の向上を目指す「大学コンソーシアム岡山」の取り組みを紹介します。

16大学が約250科目を提供
単位互換制度

実社会で役立つ内容
キャリア形成講座・金融知力講座

社会で役立つ内容
実践マナー講座・ビジネスマインド講座

“オール岡山”で学

7月19日 山陽新聞 朝刊

「体験型(参加型)講義」

「実践的トレーニングワーク」



**入社後から定年まで
活かせる
キャリア教育**



前半は、「コミュニケーション力」「自己分析」「他者理解」「キャリア形成論」を、実践的に学び、



後半の「課題解決グループ企画会議」では、最終回の「プレゼン大会 優勝」に向けて、チーム一丸となつての真剣勝負を展開！！

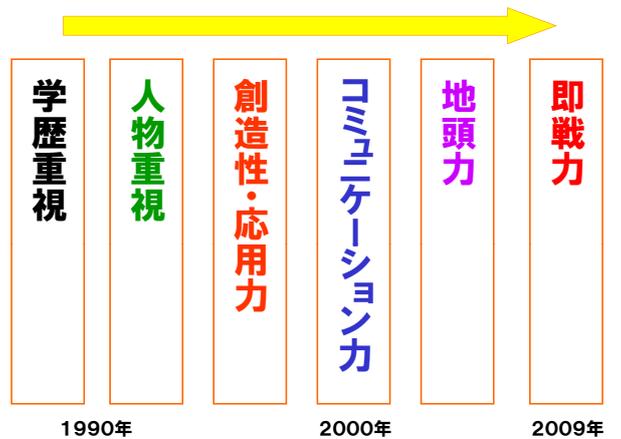
徹底した「体験学習」と「実践型トレーニング」



企業出身で、採用・社内研修の経験を有する講師が担当（現在も、「企業内研修」や「プロ養成セミナー」を担当）
⇒ 時代に合った実践型トレーニングメニューを作成

【講座のテーマ・合言葉】

- 「わかる」と「できる」はちがう
- 「保留」しないで「行動」しよう！
- 考えることを人に任せるな！
- ひとつの頭で考えない
- 自己実現と他者実現



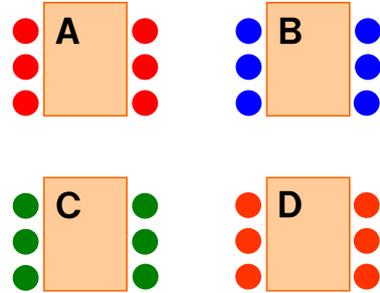
行動・実行



成功 ➡ 自信になる

失敗 ➡ 勉強になる

グループ企画会議



「グループ企画会議」



「プレゼンテーション大会」



クオリティの高い「プレゼンテーション」は、
企業の若手社員も圧倒！



プロもうなるほどの資料
ビデオレターも巧みに導入

「和」をモチーフにした
企画は、浴衣姿でプレゼン



ハワイアンレストランの
企画発表は、エキゾチックに
(美味しい試食付きで)



ミニドラマやBGM、
立体模型なども・・・



凝った演出で
斬新な企画をアピール



OBも「プレゼン大会」に
駆けつけ、審査に参加



大会の振り返りも
きっちり



打ち上げ・感謝会
同期会の発足



社会人との交流



地域交流
「まなびピア」に出展



「ロゴマーク・コンテスト」
などの運営も



大学
ゴノーシアル
岡山

「社会人基礎力」

*経済産業省が定義

- 1) 前に踏み出す力 (アクション)
- 2) 考え抜く力 (シンキング)
- 3) チームで働く力 (チームワーク)

実践マナー&ビジネスマインド講座



2010年12月4日(土)
12:30~17:00

於) 岡山大学



【第1部】

「実践マナー講座」 (桑田朋美 先生)

<32名受講> *8大学から



【第2部】

「ビジネスマインド講座」 (飯田哲司 先生)

<36名受講> *8大学から



【第3部】

「伝達力・質問力アップ講座」 (上村明子 先生)

<24名受講> *8大学から

2010年12月25日(土) 13:00~16:30
於) 中国学園大学



147名参加 (学生 115名) ※7大学から
(学生以外 32名)

【第1部】

「先手必勝！
同期から一歩先んじる新入社員になる方法
～現場で活かせ！社会人基礎力～」



<講師> 松下 直子氏

(株式会社 オフィスあん 代表)



【第2部】

先輩たちに贈る 現場からの熱い言葉！



先輩：「キャリア形成講座」修了生4名



ビザビレレーションズ
杉本健太
(岡山大OB)



ナカシマメディカル
吉柳芽依
(岡山大OB)



山陽新聞社
仁井名小百合
(清心大OB)



シンセリティー
渡邊雅斗
(岡山大OB)



【コーディネーター】
飯田哲司教授



本日のゲスト紹介 (「キャリア形成講座」修了生)

キャリア講座 修了生 の意見発表の前に

2011年度ヒヤリング結果の報告

学生・企業の声

■受講した学生からの意見(一例)

- ① 「キャリア教育」と「就活対策」は別もの！
区分してほしい
- ② 実践的なトレーニングを行う『体験学習』を
やってほしい(もっとやりたい)
- ③ 企業での勤務経験(入社面接～新人時代
～中間～管理職)のある講師から学びたい
- ④ 社会人の先輩と交流できる場がほしい
- ⑤ 「必修科目」とはせず、「選択」にしてほしい！

■企業の教育担当者の意見（一例）

①「アウトプットする能力」の強化を！
（発信力）（成果物を作り上げる）

②「地頭力」の強化を！

③「自立心」を強化を！

+

①「キャリア教育」と「就活対策」は別もの！
区分してほしい

≪学生と同じ意見≫

①

キャリア講座 修了生 の意見発表

◆ 本日起り上げるテーマ ◆

A)

「キャリア教育」と
「就活対策」は別もの！
区分してほしい

B)

実践的なトレーニング
を行う『体験学習』を
もっと導入して！

C)

「必修科目」とはせず、
「選択」としてほしい
（再度受講したい）

D)

「アウトプットする能力」
の強化を！
（成果物）（完結力）

修了生代表者 プレゼン

学生が望む講座とは

◆ 本日起り上げるテーマ ◆

A)

「キャリア教育」と
「就活対策」は別もの！
区分してほしい

B)

実践的なトレーニング
を行う『体験学習』を
もっと導入して！

C)

「必修科目」とはせず、
「選択」としてほしい
（再度受講したい）

D)

「アウトプットする能力」
の強化を！
（成果物）（完結力）

②

グループに分かれての 意見交換



発表

配布用
ワークシート

【MEMO】

A) 「キャリア教育」と「就活対策」は別もの！ 区分してほしい

(学ぶ目的がそれぞれ違う…) (受講したい時期が違う…) (内定後にごそ学びたい…)

B) 実践的なトレーニングを行う『体験学習』をもっと導入して！

<体験、思考・工夫、実践、振り返り、習慣化、習得>のプロセス

C) 「必修科目」とはせず、「選択科目」としてほしい

(再受講も認めてほしい…) (意欲のない学生は受講しないでほしい…)

D) 「アウトプットする能力」の強化を！ (成果物をつくる苦しみを知る) (完結する体験)

ex. 模擬会議、企画コンペ、プレゼンテーション大会、・・・

～ 学生や社会の現場が望む
キャリア形成教育とは ～

岡山オルガノン 中国学園大学オフィス

ワーキングの実施報告

2010年・2011年

■ ワーキングのテーマ：

「学生が望む“キャリア形成教育”とは」

■ 「ヒヤリング」「意見交換会」を実施：

- ・現役学生（「キャリア形成講座」受講生）
- ・ “ ” （ “ ” 修了生）
- ・若手社会人（ “ ” 修了生）
- ・キャリア教育関係者
- ・企業の人事教育担当者

【取組内容】

「社会人基礎力養成」に関する
ワークショップの開催のための活動

◆ 「学生へのヒヤリング・意見交換会」

◆ 「社会人へのヒヤリング・意見交換会」

学生へのヒヤリング 意見交換会

（月1回ペースで実施）



「キャリア形成講座」の修了生へのヒヤリング 社会人との意見交換会

（+高校の先生方）

（年間18回実施）



このヒヤリング・意見交換会での「内容」「要望」「提案」を元に、
連携校のキャリア教育実施担当者とのワークショップを開催する

*このワークショップには学生代表者も参加の予定

キャリア講座 修了生 の意見発表の前に

2011年度ヒヤリング結果の報告

学生・企業の声

■受講した学生からの意見（一例）

- ① 「キャリア教育」と「就活対策」は別もの！
区分してほしい
- ② 実践的なトレーニングを行う『体験学習』を
やってほしい（もっとやりたい）
- ③ 企業での勤務経験（入社面接～新人時代
～中間～管理職）のある講師から学びたい
- ④ 社会人の先輩と交流できる場がほしい
- ⑤ 「必修科目」とはせず、「選択」にしてほしい！

■企業の教育担当者の意見（一例）

- ① 「アウトプットする能力」の強化を！
（発信力）（成果物を作り上げる）
 - ② 「地頭力」の強化を！
 - ③ 「自立心」を強化を！
- +
- ① 「キャリア教育」と「就活対策」は別もの！
区分してほしい

≪学生と同じ意見≫

①

キャリア講座 修了生
（現役学生）
の意見・提案

②

キャリア講座 修了生
（卒業生・社会人）
の意見・提案

③

**キャリア教育担当者
企業の人事担当
の意見・提案**

◆ 検討テーマの候補 ◆

A)

「キャリア教育」と
「就活対策」は別もの！
区分してほしい

B)

実践的なトレーニング
を行う『体験学習』を
もっと導入して！

C)

「必修科目」とはせず、
「選択」としてほしい
(再度受講したい)

D)

「アウトプットする能力」
の強化を！
(成果物)(完結力)

**グループに分かれての
意見交換**



発表

検討用
MEMOシート

A) 「キャリア教育」と「就活対策」は別もの！ 区分してほしい

(学ぶ目的がそれぞれ違う…) (受講したい時期が違う…) (内定後にこそ学びたい…)

B) 実践的なトレーニングを行う『体験学習』をもっと導入して！

<体験、思考・工夫、実践、振り返り、習慣化、習得>のプロセス

C) 「必修科目」とはせず、「選択科目」としてほしい

(再受講も認めてほしい……) (意欲のない学生は受講しないでほしい……)

D) 「アウトプットする能力」の強化を！ (成果物をつくる苦しみを知る) (完結する体験)

ex. 模擬会議、企画コンペ、プレゼンテーション大会、……

【MEMO】

◆ 本日起り上げるテーマ ◆

A)

「キャリア教育」と
「就活対策」は別もの！
区分してほしい

B)

実践的なトレーニング
を行う『体験学習』を
もっと導入して！

C)

「必修科目」とはせず、
「選択」としてほしい
(再度受講したい)

D)

「アウトプットする能力」
の強化を！
(成果物)(完結力)

A) 「キャリア教育」と「就活対策」は別もの！ 区分してほしい

(学ぶ目的がそれぞれ違う・・・) (受講したい時期が違う・・・) (内定後にこそ学びたい・・・)

B) 実践的なトレーニングを行う『体験学習』をもっと導入して！

<体験、思考・工夫、実践、振り返り、習慣化、習得>のプロセス

C) 「必修科目」とはせず、「選択科目」としてほしい

(再受講も認めてほしい・・・) (意欲のない学生は受講しないでほしい・・・)

D) 「アウトプットする能力」の強化を！ (成果物をつくる苦しみを知る)(完結する体験)

ex. 模擬会議、企画コンペ、プレゼンテーション大会、・・・

【MEMO】

平成23年 9月 8日

岡山オルガノン連携校 各位
(キャリア形成教育担当者 様)

岡山オルガノン 中国学園大学オフィス
代表 飯田 哲司
コーディネーター 桑田 朋美

社会人基礎力養成「ワークショップ」の開催について

拝啓

初秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、学生発案による「社会人基礎力養成」企画のワークショップ開催につきましては、5月より 学生ならびに企業担当者等と打合せ・準備を進めてまいりました。

ここで各大学の「キャリア形成教育担当者」の方々にお集まりいただき、学生と意見交換を行う「ワークショップ(講習会)」を開催したく、下記に案内させていただきます。

つきましては、ご担当者ならびに関係者の方々への、連絡を宜しくお願い致します。

敬具

記

1. 日 時 : 平成23年 9月30日 (金) 14:00~16:00
2. 場 所 : 中国学園大学 12号館3階 M303 教室、M304 教室 <案内図 参照>
3. 対象者 : キャリア形成教育の導入に関する担当者(教務課等)
キャリア形成教育の実施担当者(教員・講師等)
4. 内 容 : ① 学生による発表「学生が望むキャリア教育とは」
② グループに分かれてのディスカッション
(大学の教職員+学生+若手社会人+キャリア教育関係者 等)

*参加学生 … 「キャリア形成講座」修了生の代表メンバー 4~6名
(岡山大・岡山理科大・就実大の学生)

※出席者の連絡

【別紙】に記入のうえ、9月26日(月)までに、メールまたはFAXで連絡ください

以上

社会人基礎力養成ワークショップ

1. 日時 : 2011年9月30日(金) 14:00~16:00
2. 場所 : 中国学園大学 12号館 303教室
3. 報告 : 社会人基礎力養成ワーキングの内容紹介
(ヒヤリング実施に関して)
4. 発表 : 「学生が望むキャリア形成教育とは」
発表者)「キャリア形成講座」の修了者代表4名
5. ワーク : グループに分かれてのワークショップ(検討会)
6. その他 : 【連絡事項】
 - ①「ビジネスマインド講座」開催
2011年11月27日(日)
於. 中国学園大学 L309室
 - ②「社会人基礎力養成シンポジウム」開催
2011年12月11日(日)
於. 中国学園大学 12号館 大講義室

* ①②とも追ってチラシを配布いたします

●出席者一覧

連携校関係者

大 学 名	氏 名	職 名
岡山商科大学	中川 尚子	キャリアセンター課職員
	長内 路子	岡山オルガノン岡山商科大学オフィス事務補佐員
岡山理科大学	大本 勝子	岡山オルガノン大学教育連携センター事務補佐員
川崎医科大学	大槻 剛巳	学長補佐・教授（衛生学）
環太平洋大学	杉田 郁代	准教授
吉備国際大学	大森 裕之	キャリアサポートセンター主任
	尾上 選哉	国際環境経営学部環境経営学科 准教授
	後藤 悟	教務部長
倉敷芸術科学大学	忠政 慎也	学務部教務課長
くらしき作陽大学	岡野 智博	就業力育成支援コーディネーター
就実大学	高祖 宏志	キャリア支援・開発担当課長
中国学園大学	直原 研造	就職支援センター 部長
	後藤 和宏	就職支援センター キャリアサポーター
	寺田 悟	地域連携センター教育担当

ゲスト（キャリア形成講座修了生）

氏 名	所属名
高橋 和	岡山大学 文学部
三宅 寛人	岡山理科大学 総合情報学部
上田 楓子	就実大学 人文科学部
渡邊 雅斗	(株)シンセリティ代表（岡山大学経済学部卒業）

氏 名	職 名	
飯田 哲司	岡山オルガノン	代表
桑田 朋美	中国学園大学	コーディネーター
永井 智子	オフィス	事務補佐員